

防犯青森

～令和7年冬号～

NO.287

令和7年12月1日発行

公益社団法人 青森県防犯協会連合会
〒030-0801 青森市新町二丁目3番1号
TEL 017-777-5959 FAX 017-775-4211

12月11日(木)～12月31日(水)は 「年末特別警戒取締り」期間です

青森県警察 の活動重点

- 1 強盗事件等各種犯罪の未然防止及び街頭警戒活動の強化
- 2 飲酒運転の根絶に向けた取組の強化
- 3 暴力団排除活動等の積極的な推進
- 4 テロ等重大事案の未然防止

青森県警察では、日常生活の安全と安心を確保するため、犯罪や事故の抑止対策を強化する「年末特別警戒活動」を実施します。

警戒活動に対する御理解と御協力をお願いします。

12月11日(木)には、県内各地で一斉警戒活動が行われます。



青森県警察特殊詐欺被害防止
キャラクター「サギかもくん」

年末の犯罪抑止対策

1 強盗対策

強盗などの被害に遭わないよう

＜自宅＞ 外周の見通しを良くし、在宅中も鍵を掛ける

＜店舗＞ 強盗模擬訓練の実施、店舗内外の見回りによる警戒、お客様への積極的な声掛け

＜共通＞ 防犯カメラ、通報装置など防犯機器の整備・点検など、**防犯体制の見直し・強化**をお願いします。



2 特殊詐欺対策

被害が幅広い世代に広がっています。

【特殊詐欺】

警察官をかたる詐欺が多発しています。SNSを使用して、画面越しにニセ警察手帳や逮捕状を見せて信用させ、資金調査名目などでお金を要求する手口です。そのほか、全国では、身体検査名目で裸にさせられ、性的な被害を伴う事例も見られます。

「警察からお金を振り込むように言われた」「ビデオ通話で事情聴取する」は詐欺です!!

【SNS型投資・ロマンス詐欺】

投資名目の詐欺が多発しています。SNS上のニセ投資広告や、SNSで知り合った人から投資を勧められ、ニセの投資アプリに誘導されます。アプリ上では利益が出ているように見せ、実際に数万円ほど入金してくることもあり、巧みに騙します。

「絶対にもうかる」は詐欺です!!

警察からお金の話をされたり、SNSで投資の話が出たら詐欺を疑い、家族や知人、警察に相談しましょう。

投資を始めるにはアプリをインストールしてください。私の言う通りに操作すればもうかります。〇日にお金を振り込んでください。



3 「闇バイト」はアルバイトではなく、犯罪です!

犯罪実行者募集情報（いわゆる闇バイト）は、

○ XなどのSNSで「即金即日」「高額」など、「簡単、高収入」を強調する

○ シグナルやテレグラムといった匿名性の高いアプリに誘導して、個人情報を送信させ、脅迫する

といった特徴があります。

犯罪に加担しないように、また加担し続けないように、勇気を出して警察に相談しましょう。警察はあなたを守ります。



冬休み中の少年非行防止対策

1 青森県内の少年非行概況（令和7年9月末暫定値）

まもなく子供たちが楽しみにしている冬休みが始まります。クリスマス、お正月と楽しいイベントが続きますが、この時期は、冬休みという解放感や気の緩みから、生活リズムが乱れがちになり、不良行為や非行に走りやすく、SNSに起因して性被害を受けるなど、福祉犯の被害に遭うケースも心配されます。子供たちの非行を見逃さず、犯罪被害に遭わないよう、地域の大人たちから「挨拶」という思いやりの一声を掛け、見守っていることを発信しましょう。



| 区分 | 年別 | 令和6年 1～9月(人) | 令和7年 1～9月(人) | 増減 (人) |
|----------------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------|
| 非 法 犯 罪 少 年 | 刑 犯 罪 少 年 | 67 | 91 | +24 |
| | 触 法 少 年 | 48 | 44 | -4 |
| | 犯 罪 計 | 115 | 135 | +20 |
| | 特 別 法 犯 罪 少 年 | 20 | 17 | -3 |
| | 触 法 少 年 | 0 | 1 | +1 |
| | 犯 罪 計 | 20 | 18 | -2 |
| 等 | ぐ 犯 少 年 | 3 | 0 | -3 |
| | 不良行為少年 | 1,211 | 1,087 | -124 |
| | 合 計 | 1,349 | 1,240 | -109 |

青森県内の令和7年9月末までの非行少年等は1,240人で前年同期と比べ**109人減少**しました。

不良行為少年は減少したものの、刑法犯少年が増加しています。刑法犯少年は「万引き」が38人で最多でした。(再犯者率18.5%)不良行為少年は「喫煙」435人、「深夜はいかい」242人、「飲酒」158人の順に多かったです。

2 ペアレンタルコントロール(フィルタリング)を活用しましょう

令和6年中、全国でSNSの利用がきっかけで犯罪被害(児童ポルノ、略取誘拐、不同意性交等)に遭った児童は1,486人でした。「フィルタリング」の利用の有無が確認できた801人のうち、約9割が「フィルタリング」を利用していませんでした。「ペアレンタルコントロール」とは、保護者の方が子供のライフサイクルを見通して、その発達に応じてインターネット利用を適切に管理することです。その代表例が「フィルタリング」です。「フィルタリング」はインターネットを利用する者が青少年に有害な情報を閲覧するのを制限するサービスです。有害なサイトへのアクセス制限のほか、長時間利用を防ぐ時間設定など、個別にカスタマイズが可能で、子供の年齢やインターネット利用目的に応じて柔軟に活用することができます。サービスの詳細については、それぞれの携帯電話事業者にご相談ください。



3 子供に関する相談は、「少年サポートセンター」へ

| | | |
|---|----------|-----------------------------------|
| 青森少年サポートセンター | | 八戸少年サポートセンター ☎0178-22-7676 |
| 新町センター ☎0120-58-7867 | こどもはなやむな | 弘前少年サポートセンター ☎0172-35-7676 |
| 安方センター ☎017-776-7676 | | 受付: 8:30～17:15 ※土・日・祝日・年末年始を除く |
| 少年サポートメール youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp (受付: 24時間受信/返信は2～3日後 ※土・日・祝日・年末年始を除く) | | |
| 「少年補導職員」が問題に応じて助言や面接指導、心のケアを継続的にを行っています。 | | |

青森県から暴力団を排除しよう

令和6年末現在、青森県内には約110人の暴力団組員等があり、様々な方法で県民生活や事業活動に食い込み、資金を得ようとしています。

このような暴力団を排除するため、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(暴力団対策法)」や「青森県暴力団排除条例」により、次の行為が禁止されています。



暴力団対策法で禁止されていること

- 暴力団員が飲食店等に対し、みかじめ料・用心棒代・ショバ代などの名目で金銭を要求する行為
- 暴力団員が飲食店等に対し、業務用の物品や正月用品である門松、しめ縄、干支の置物などを購入するよう要求する行為
- 暴力団員が、公共料金、家賃、商品購入代金などの支払いの免除や猶予を要求する行為
- 暴力団員が事業者に対し、寄付金や賛助金等の名目で金銭を要求する行為
- 暴力団員が、クリーニングした衣類、購入した商品などに「欠陥がある」などと因縁をつけ、損害賠償の名目で金銭を要求する行為

青森県暴力団排除条例で禁止されていること

- 営業上のトラブルを抱えた事業者が、暴力団員にトラブルの対処を依頼し、その謝礼として現金を渡す行為
- 暴力団員がトラブル解決や用心棒代などの名目で、事業者から金品等の供与を受ける行為
- 暴力団員が自分が暴力団員であることを隠す目的で、他人の名義を利用する行為
- 暴力団員に自分の名義を利用させる行為
- 不動産業者が、暴力団事務所として使用されることを知りながら、暴力団員に物件を売却する行為
- 小学校等の施設周囲200メートル以内に、暴力団が新たに組事務所を設ける行為

このような禁止行為に該当するようなことがありましたら、お近くの警察署へ御相談ください。

暴力団追放三不運動

暴力団を「恐れない」
 恐れは「黙ったイメージから」 恐れることは暴力団を助長させる

暴力団に「金を出さない」
 金が「腐れ縁の元」 暴力団を支援・容認することになる

暴力団を「利用しない」
 全てを「金づるにする」 それが暴力団の姿勢です

暴力団と「交際しない」
 交際は暴力団の活動を助長することになります 暴力団はあらゆる機会を捉えて近づいてきます

暴力団が恐れているのは、
 暴力団を恐れないあなたの「勇気」なのです。

除排雪中の事故防止対策

1 令和6年度の雪害発生状況

| | 発生件数 | 被害者 | 死亡者 |
|-------|-------|-------|-----|
| 令和6年度 | 180件 | 179人 | 10人 |
| 前年度比 | +151件 | +150人 | +7人 |

発生要因等

雪害の多くは、除排雪中に発生しています。屋根の雪下ろし中に、はしごや屋根から転落した事故が最も多く、次いで、屋根雪の落下による事故が多く発生しています。また、高齢者被害が多く発生しています。

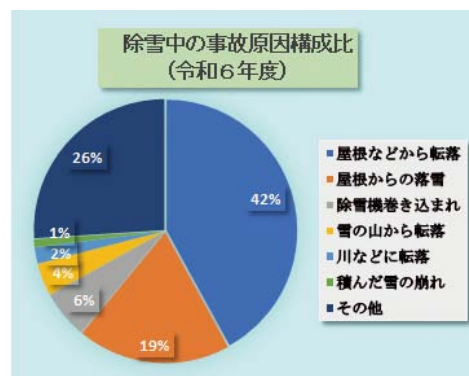
2 除排雪中の事故防止のために、気をつけること

雪下ろし中の転落事故防止

- ☐ 命綱、ヘルメット、滑り止め付きの靴などを着用する。
- ☐ 転落時に備え、周りに雪を残して作業をする。
- ☐ はしごは確実に固定する。
- ☐ 除雪作業は、家族や近所の人にも声を掛けて、できるだけ複数人で行う。また、体調が悪い時などは無理をしない。
- ☐ 軒下からの屋根の雪落とし時は、雪の下敷きにならないように、立ち位置に十分注意する。
- ☐ 晴れた日は屋根の雪がゆるむので、特に注意する。

除雪機による事故防止

- ☐ 除雪機の点検や雪詰まりを取り除く時は、必ずエンジンを停止する。
- ☐ 作業中は周りに注意し、人を近付けない。
- ☐ 後進する時は、後方や足下を確認する。



初詣の雑踏事故等防止対策

初詣の参拝者による雑踏事故や交通事故を防止するため、主催者や警察官等が整理・誘導に当たっています。事故を発生させない、遭わないために、次の点に注意しましょう。

1 押し合い、割り込みは絶対しない

- ☐ 混雑している場所での押し合いや割り込みは絶対にやめ、係員や警察官の誘導・指示に従う。
- ☐ 子供が押されて転んだりしないように、保護者は十分に注意する。

2 混雑する時間帯は避ける

- ☐ 混雑している時間帯は事故が起きやすいため、なるべく混雑する時間帯を避ける。
- ☐ 特に、子供や高齢者が一緒にいる場合は、混雑する時間を避けると安心。

3 足元に注意

- ☐ 階段等は、凍結や積雪などで滑りやすくなっているため、足下に注意する。

4 交通事故防止

- ☐ 路面が凍結している可能性があるため、交通事故に十分注意する。
- ☐ 路上駐車は交通渋滞を誘発するほか、救急車などの緊急車両の通行の妨げとなるため、車両は駐車場等に駐車する。



県防連ニュース

◆第72回青森県少年防犯弁論大会を開催

第72回青森県少年防犯弁論大会（青森県防犯協会連合会主催）は、9月18日に三沢市立第一中学校で東部大会、9月25日につがる市立木造中学校で西部大会を開催し、各地区から選抜された中学生代表が自分の思いを力強く発表しました。

入賞者は次のとおりです。



東部大会の入賞者の皆さん



西部大会の入賞者の皆さん

| | 東 部 大 会 | | | | 西 部 大 会 | | | |
|-------|-------------|----|-----------|--|------------|----|---------|--|
| 最優秀賞 | 六ヶ所村立第二中学校 | 3年 | 佐藤 歩希さん | | つがる市立柏中学校 | 2年 | 成田 名那さん | |
| 優 秀 賞 | 青森市立南中学校 | 3年 | 小笠原 駿介さん | | 弘前市立第一中学校 | 3年 | 中西 美姫さん | |
| | 南部町立名川中学校 | 3年 | 赤石 柚希さん | | 平川市立平賀西中学校 | 2年 | 工藤 美悠さん | |
| 奨 励 賞 | 八戸市立第一中学校 | 3年 | 石鉢 絵椰さん | | 青森市立浪岡中学校 | 3年 | 鎌田 悠成さん | |
| | おいらせ町立下田中学校 | 3年 | 曾我部 さくらさん | | 弘前市立第二中学校 | 3年 | 工藤 瑚陽さん | |
| | 八戸市立第二中学校 | 3年 | 館花 りんさん | | 外ヶ浜町立蟹田中学校 | 2年 | 蝦名 結菜さん | |

◆安全・安心まちづくり青森県民大会の開催

10月7日青森市のリンクモア平安閣市民ホールにおいて、「令和7年度安全・安心まちづくり青森県民大会」(県、県教委、県警本部、県防連主催)を開催しました。

大会の冒頭で、防犯功労者、防犯功労団体及び功労ボランティア団体として、次の方々が表彰されました。心からお祝い申し上げます。(敬称略、()内は地区名)

警察庁長官・全国防犯協会連合会会長連名表彰

防犯栄誉金章 1名 長内 幸子(黒石)
防犯栄誉銀章 2名 今井 勝美(黒石) 元村 優憲(三戸)

全国防犯協会連合会会長表彰

防犯栄誉銅章 6名 成田 幸一(青森) 上野 修一(八戸) 工藤 文隆(弘前)
白川 光治(むつ) 奥山 茂(三戸) 安村 寛(七戸)
功労ボランティア団体 1団体 間木パトロール隊(三沢)

東北管区警察局長・東北防犯協会連絡協議会会長連名表彰

防犯功労者 9名 柴田 裕(青森) 大館 恒夫(八戸) 三上 一雄(弘前)
細川 榮子(三沢) 三浦 昭三(野辺地) 神明前八重子(三戸)
疋 与一(七戸) 高森 キクエ(外ヶ浜) 菊池 重幸(五戸)
防犯功労団体 2団体 むつ地区防犯協会協野沢防犯指導隊
板柳地区女性防犯指導隊

青森県警察本部長・青森県防犯協会連合会会長連名表彰

防犯功労者 21名 相馬多一郎(青森) 棟方 光明(青森) 寺嶋 多吉(青森)
堰合喜代治(八戸) 上村 和男(八戸) 竹ノ子隆昭(八戸) 齋藤 幸子(弘前)
成田 久一(弘前) 福士 光広(弘前) 下田 正幸(十和田) 山端 幸夫(十和田)
小比類巻義則(三沢) 織笠 誠子(三沢) 工藤 洋一(むつ) 濱田 順子(むつ)
中村 春志(野辺地) 畑中 明美(三戸) 佐藤 貞彦(鰺ヶ沢) 佐々木信幸(七戸)
工藤 ハツ(青森南) 木村 英美(外ヶ浜)

防犯功労団体 7団体 青森地区防犯協会横内支部 八戸地区連合防犯協会田面木地区防犯女性部
八戸地区連合防犯協会旭ヶ丘地区防犯協会 弘前地区防犯協会堀越支部
弘前地区防犯指導隊裾野支隊 鰺ヶ沢地区防犯指導隊赤石支隊
五戸地区防犯指導隊上市川支隊



防犯栄誉金章及び銀章の伝達



防犯栄誉銅章及び功労ボランティア団体の伝達



青森県防犯功労者及び防犯功労団体の伝達

◆各地区防犯協会等の活動状況

りんご盗難防止パトロールの実施

弘前地区防犯指導隊・板柳地区防犯指導隊

9月26日弘前市りんご公園において出動式を実施し、弘前警察署長、弘前市長の挨拶に続いて、弘前地区防犯指導隊総隊長が決意宣言をして、パトカーや青色回転防犯灯車等が、警戒活動に出動しました。



三戸地区防犯指導隊・南部町防犯協会

10月16日南部町役場いちょうホールにおいて出動式を実施し、南部支隊長が出動宣言して警戒活動に出動し、防犯協会員等が、南部町内のりんご畑に「のぼり旗」を設置して注意喚起を行いました。



鰺ヶ沢地区防犯指導隊

10月15日鰺ヶ沢町の建石地区において、鰺ヶ沢警察署員とともにりんご畑をパトロールし、作業中のりんご農家などに対して広報チラシを配布しながら注意喚起を行いました。



青森南地区防犯協会

10月22日青森南警察署講堂において出動式を実施し、パトカーと青色回転防犯灯車の出動を見送り、地区内のりんご畑で生産者に盗難防止等のチラシを配付して啓発活動を行いました。



賛助会員を募集しています

公益社団法人青森県防犯協会連合会は、犯罪のない明るく住みよい社会を実現するため、防犯意識の啓発等の事業に取り組んでいます。

この趣旨にご賛同、ご支援をいただける法人・団体及び個人の賛助会員を募集しております。

年会費 団体1口1万円、個人1口5千円(複数口の加入も可能です)

お問い合わせ先 公益社団法人 青森県防犯協会連合会事務局

電話 017-777-5959 ✉ aokenbouren@snow.ocn.ne.jp

賛助会員のプレート
防犯賛助会員
公益社団法人 青森県防犯協会連合会

賛助会員のプレート